



## 人形浄瑠璃を通して文化交流

ワシントン州日系クイーン&プリンセス来庁

兵庫県とワシントン州の友好提携50周年記念の親善大使として同州から2012ワシントン州日系クイーン&プリンセスが3月25日、市役所中央庁舎で中田市長を訪問しました。



▲(中田市長の隣から)ユナ・マリエ・ニシモトさん、タリン・リー・イマニシさん、ニコル・ルリコ・リーさん

クイーンのユナ・マリエ・ニシモトさん、ファーストプリンセスのタリン・リー・イマニシさん、プリンセスのニコル・ルリコ・リーさんと、

通訳を務める2010プリンセスのクリスティーン・セイラ・ジョンストンさんの4人は、3月20日から9日間の日程で来日。兵庫県内の歴史や文化の理解を深めるためホームステイをしながら、県内各地を訪問しました。



▲中田市長と談笑する日系クイーン&プリンセス

この日は午前中に淡路人形座で人形浄瑠璃を鑑賞。午後の訪問でクイーンのユナ・マリエ・ニシモトさんは人形浄瑠璃について「繊細で細やかな人形の動きは、まるで生きている人間のようにとてもすばらしかった」と話しました。中田市長は訪問した4人に「残りのスケジュールを有意義に過ごしてください」とあいさつしました。

## 盲導犬といることでの生活をめざして

盲導犬と自立した郷土での生活をめざす原口淳さん



▲原口 淳さんとバベル

南あわじ市出身で現在神戸市に住んでいる原口 淳さんに社会福祉法人「兵庫盲導犬協会」から盲導犬バベルが貸

与されました。盲導犬を育成する同協会が貸与を認可するのは島内では初めてのことです。原口さんは、国家資格のマッサージ師や鍼灸師をめざして職業訓練中です。将来は故郷に帰って自立したいという強い思いから、盲導犬を利用するきっかけとなりました。

一般に盲導犬を利用して都会と比べると田舎で歩行するにはまだまだ環境整備が必要と言われていきます。しかし、バベルとの訓練の一環で、生れて初めて淡路島の実家の周辺を歩いて「世界観が変わった」と感動を話してくれました。原口さんは、これまでも帰郷して小学校でブラインドサッカーの指導、普及も行っています。2年後の国家試験に合格して、郷土に帰っての生活に期待を膨らませながら頑張っています。

## みごと看護師国家試験に合格!

市内の病院で働きながら学んだ2人が表敬訪問



▲中田市長(中央)と表敬訪問に訪れたフマンイトさん(左)とナインゴランさん(右):4月2日

経済連携協定(EPA)の外国人看護師候補者の受け入れ事業で来日している2人の看護師が、市内の病院で働きながら勉強して、みごと日本の看護師国家試験に合格しました。2人は平成病院のインドネシア人女性リアナフアレンティナ・ナインゴランさんと南淡路病院のフィリピン人男性ジャンマイケル・フマンイトさんです。言葉のハン

ディを乗り越え病院で勤務しながらも自宅で夜遅くまで勉強するなど努力を積み重ねて外国人受験者311人中、合格が30人という難関を突破。教育担当の看護師前川久美さんは「2人はとても真面目で熱心。理解も早く、こちらも教えてもらうことが多かった」と話します。ナインゴランさんは「多くの人から笑顔をもらえる看護師になりたい」、フマンイトさんは「将来は日本の大学で学び医師をめざしたい」と今後の抱負を話しました。

## 淡路島バーガーフェスタが開催

イングランドの丘でうずの丘大鳴門橋記念館に続く第2回



▲約6千人が来場して賑わった淡路島バーガーフェスタ

淡路島特産の牛肉やたまねぎ、レタスなどを使ったご当地バーガーが集まった「淡路島バーガーフェスタ」が3月30日にイングランドの丘で催されました。道の駅うずしおやイングランドの丘を含む島内から8店が参加して開かれ、全国ご当地

バーガー全国2位を受賞したあわじ島バーガー「オニオンビーフバーガー」など特色あるバーガーを販売。入場無料となったこの日は、チラシやネットでも知ったという島内外からの観光客や家族連れが大勢訪れて各店の前には長い行列ができました。家族で訪れた人たちもそれぞれ違ったバーガーを買って食べ比べたりして、おいしさを実感していました。また施設の屋外ステージでは、音楽イベントや淡路島ハンバーガールのオーディションなどが開かれ盛り上がりを見せました。

## 水泳競技全国大会出場

増田達哉さん(八木小)



▲増田達哉さん

新潟県で3月29日に第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会が催されました。自己ベストタイムを更新し、出場した小学5年生のなかで16位の成績を残しました。

## いじめ防止標語コンテストで全国最優秀賞

登 光さん(松帆小)

第6回いじめ防止標語コンテストの「小学生の部」で、登 光さん(松帆小)の標語が、全国最優秀賞を受賞し、3月21日に市役所中央庁舎で報告会が開催されました。登さんの標語は、「先生も 見てみぬふりを やめようよ」です。小学生の部は16万5千作品の応募があり、子どもの心をケアするスクールカウンセラーなどが審査を行って選考した最優

秀賞11作品の一つに選ばれました。



▲市内舞踊グループが集って開かれた第1回目の開催

## 第1回南あわじ市舞踊の会

市内の舞踊グループが一堂に会して、日頃の練習の成果を披露

第1回南あわじ市舞踊の会が3月30日三原公民館大ホールで開かれ、市内公民館で活動する14の舞踊サークルや団体から約80人が参加して日頃の練習の成果を発表しました。昨年12月に市内舞踊グループが自発的に会を立ち上げ、一堂に会して発表される第1回目となる催しで、雅やかな踊りで会場の多くの人を魅了しました。今後も継続して毎年この時期の開催をめざしています。



▲雅やかな舞を披露して会場を魅了しました。



▲中田市長と握手する登 光さん(右)